

## 便利な台北駅周辺の地下街

台北取材中、宿泊したのは中山北路沿いのホテルで、最寄りの MRT 駅は淡水信義線の雙連站（駅）か、中山站（駅）でした。このいずれかの駅の改札を出ると、そこから地下街が広がっていることに気づきます。取材前、現地詳しい人から台北の地下街が今、とても活気があると聞いていたので、実際に歩いて回ることにしました。

### 熱射と雨を避けられる街

台北は亜熱帯の都市。年間通じて湿度は高く、5~6月、夏の台風シーズン、12~3月に降雨の確率が高い気候です。多くの雨と南国特有の強い日射をなるべく避けながら街なかを移動できるよう建物のつくりが工夫されています。建物1階の軒先が長く伸び、雨と陽射しを避けられる歩道が続くエリアも散見できました。



▲迪化街近くの歩道。ゆったりした道幅の半分まで建物がせり出し、雨にさらされる残り半分はバイク置き場。市民は軒下側を歩く。商店は天気を気にせず、軒先まで広く商品を並べられる利点も。気候風土が生んだ建物のつくり方

## 極楽な地下街

取材で市内をくまなく歩き回り、台北は利便性を徹底追及している街だと感じました。充実の MRT 路線と市営バス網、安価なタクシーやレンタル自転車とアクセス手段はさまざま。歩道も先に述べたように歩きやすくストレスが少ない。また、市民のバイタリティを地下街の発展ぶりに観た気がします。MRT 雙連站から中山站を経て台北車站へと延々と続く中山地下街（R 區）を歩いたときは、あまりの便利さに感動。ひしめく店を覗き、ギャラリーやイベントを眺め、おみやげを買ったり、マッサージを受けたり、食事したり、広場で休んだり、天候に左右されず楽しむうちに台北交通網の中心地へと移動できるからです。トイレもあちこちにありますが地上を移動するよりずっと快適です。



▲MRT 雙連站～中山站～台北車站を結ぶ中山地下街。服やアクセサリ、コスメなどのショップが並ぶ「百貨商店街」、48 軒もの書店が連なる世界最長の地下書店街「中山地下書街」、前衛的な作品の展示が多い地下ギャラリー、ダンスやコンサートなどのイベントが催される「爵士廣場」、水の流れに心休まる「水景廣場」など多くの広場で構成される



▲案内表示の文字も大きく眼に入りやすい。現在地を把握できるマップもたくさん。迷うことなく地下街を進める

## ●中山地下街 Zhongshan Metro Mall (R 區)

場所／MRT 淡水信義線・雙連站～中山站～台北車站

営業時間／11:00～22:00 (中山地下書街は～21:30)

店舗数／83 軒

総面積／約 4,446 坪

全長／約 815m

### 地下街から地下街へ

ひたすら長い中山地下街はそのまま台北駅北側に位置し、「Y 區」とも呼称される「台北地下街」へとスムーズにつながっています。この台北地下街の入口で地下街の広がりを通路に掲げられた全体マップで俯瞰してみると、Y 區のほか、「K 區」と呼ばれる地下街「誠品站前店」、「Z 區」の別称がある「站前地下街」へと連結しています。ここから先に待ちうけているのは地下街のカオス。地上への出口が次々と現れながら地下道はいくつも枝分かれしていきます。東京駅の地下街のように迷宮化して、自分がどこにいるのか困惑してしまうそうですが、そこは安心してください。マップや標識、明快なサインが随所に配されていて、その案内通りに進めば、特定のエリアへと進むことができます。

### オタク文化が集結

台北地下街は大きく 4 つのエリア (區) に分かれています。そのなかでも特徴的なのが「電子區」と呼ばれる一帯。ここにはゲームソフトやアニメの DVD、フィギュア、コミックなど、マニアが喜びそうな物を扱うショップが集まっています。その分野での商品の充実ぶりでは台北随一だとか。メイドカフェもあります。オタクのいわゆる聖地ですが、日本からの輸入品が多く、割高だそうです。特定のジャンルのショップを駅チカの地下街という、よりアクセスのたやすい場所に集結させていく。利便性を強く求め、実行していくスピード感は東京以上かもしれません。



▲案内表示は文字が大きく明確でわかりやすい。激安の服や小物の店も多い Y 區。台湾の定番みやげ物も手に入る

## ●台北地下街 Taipei City Mall (Y 區)

場所／台鐵&高鐵台北駅の北側、市民大道一段の地下にある

営業時間／11:00～21:30

店舗数／187 軒

総面積／約 2,930 坪

全長／約 825m

### ハイセンスな K 區

激安ショップが並ぶ台北駅周辺の地下街では異色のエリアが K 區こと「誠品站前店」です。選び抜かれたショップが入ることで知られる誠品生活グループが運営する地下街で、以前は「新世界購物中心」と呼ばれていたショッピングモール。地下 1 階に並ぶのは、品揃えのセンスが秀逸な誠品書店や誠品風格文具店をはじめ、ナチュラルコスメブランドの「阿原 YUAN」など有名店ばかり。吉野家、モスバーガー、スターバックス、マクドナルド、眼鏡の JINS、ユニクロなど日本でも馴染み深いショップも出店。また、台湾ではここだけにしか出店していない海外の一流ショップもあるようですが入れ変わりは激しいようです。



▲K 區の案内ボードとこの地下街を代表するショップ「誠品書店」



▲吉野家も K 區に出店。右は日本人に人気のコスメブランド「阿原 YUAN」のショップ

## 税金還付を受けられる

誠品站前店が日本人観光客にとって魅力的なのは、テナントで入るのがいずれも特定商品還付 (TRS) ショップであること。日本の消費税にあたる台湾の営業税 (約 5%) の還付を地下街内のインフォメーションセンター (顧客服務中心/ 服務台) にて受けられるのです。以前、この税金還付は台北松山国際空港もしくは台湾桃園国際空港内の「外国人旅客税還付カウンター」でしか受けられませんでした。同一日に同一ショップで 3,000 元以上、2 万 1,000 元以下の買い物をした場合、TRS マークのあるショップ※ (誠品站前店はインフォメーションセンター) で還付を受けられるようになったのです。空港での手続きは並ぶ場合もあって処理に時間がかかることもありましたが、新制度でより簡単になりました。

※台北市内の TRS マークのショップは、誠品生活グループのほか、新光三越、微風広場、太平洋 SOGO、エルメスやルイヴィトンなど海外ブランド店など。[リスト](#) (英文) を参照。



▲K 区のインフォメーションセンターはスターバックスの近くに位置

税金還付にあたる商品は 30 日以内に封を開けずに出国して携行し、還付手続きも購入当日におこなう必要があります。インフォメーションセンターでは、領収書もしくはレシート (統一發票) とパスポートを提示すると「外国籍旅行者の特定貨物購入に対する小額税金店頭払い戻し明細査定書」を渡されますので、その書類の注意事項を読み、サインすれば税金還付を受けられます。

### ● [誠品站前店](#) Eslite Taipei Station (K 区)

場所 / 台鐵 & 高鐵台北駅の南側、台北地下街の北側に位置

営業時間 / 10:00 ~ 22:30

総面積 / 約 1,229 坪

店舗数 / 53 軒

全長 / 不明

## 高速バス乗り場と専門街に近い

台鐵&高鐵台北駅の南側に位置し、服や傘、靴、小物、カジュアルなレストランが集まるZ区こと駅前地下街。R区、Y区と同様、手軽なおみやげを見つけられる地下街です。Z区の店舗数は少ないですが、「新光三越」やIT系ショッピングモール「五鐵秋葉原」、台湾桃園国際空港行き高速バス（[國光客運](#)）が出る台北西站A棟に近いのが特徴。また、安くお腹いっぱいになれる店が連なる南陽街（予備校が多いため別称「補習街」）、革靴の専門街「沅陵街」、カメラ機材店が集まる「博愛路」など台北駅周辺の個性的なストリートへも歩いてすぐ。地下、地上合せて、地元の人で賑わう雰囲気に触れられる一帯かと思います。



▲Z区と案内ボード。この地下街から高速バスのステーション、デパート、専門街へと出られる

### ●[駅前地下街](#) Station Front Metro Mall(Z区)

場所／忠孝西路一段の地下にある。台北西站A、B棟に出られる

営業時間／11:00～22:00

総面積／約955坪

店舗数／17軒

全長／340～350m

## 台北駅周辺の地下街全体マップ

取材ではR区、Y区、K区、Z区すべてを歩いて構内の案内ボードを撮影。その画像を確認しつつ、各地下街の公式ホームページをはじめ、台北から発信されている情報を探りながら全体の位置関係をマップに落とし込んでみました。一般的な観光ガイドには載っていない2016年1月現在の最新情報です。地下街の名称は今後も変更される可能性がありますし、さらに拡張されていくかもしれません。テナントのショップについては、各公式ホームページでご確認ください。

